

議会
だより

ふなだ

No.128
18年/10



8月臨時会・9月定例会概要	2P
議会構成の一部変更	3P
議案審議	4P
決算審査特別委員会	5～11P
一般質問	12～18P
委員会活動・一般質問のゆくえ	19P
町民の声・人事・研修報告	20P

第2回臨時会
8月9日
9月定例会
7日~14日

9月定例会は、7日より14日までの会期で開催されました。一般質問に続き国民健康保険条例の一部改正、工事請負契約の締結、一般会計、特別会計の補正予算を原案通り可決しました。17年度決算については、特別委員会を設置し、本会議において認定しました。

総額66億1,318万円

平成17年度決算を認定

主な付議事件

臨時会

特別会計補正（老人保健）
哀悼決議について

9月定例会

国民健康保険条例の一部改正
出産育児一時金の金額の見直し
長者原・福寿野地区農業集落排水
処理施設の工事請負契約の締結
契約金額 1億122万円
請負業者 丸充建設株式会社
教育委員の任命について

9月補正予算

会計名	補正額	予算総額
一般会計	24,600万円	344,840万円
国民健康保険	3,780万円	67,680万円
介護保険	2,840万円	57,800万円
簡易水道	300万円	16,300万円
農業集落排水	264万円	30,954万円
公共下水道	360万円	22,750万円

出産一時金35万円に！

国民健康保険条例の改正を行い、現行の出産育児一時金30万円が5万円アップになりました。

高落札率、入札に疑問？

集落排水処理施設の工事請負契約について、高い落札率（98.29%）について改善策を議論。

議会構成を一部変更

現職議員の死去により、各種委員会活動に不都合が生じたので常任委員会及び、議会運営委員会の構成を一部変更し、新たな体制で残任期間の議会運営に望むことになりました。

議会運営委員会

議会の会議規則、委員会条例などに関する事項。議長との諮問に関する事項。議会運営に関する事項。議事運営に関する事項。

委員長 叶内 太一
副委員長 信夫 正雄
委員 加藤 俊正
同 八 勝昭
同 八 太

総務常任委員会

町有財産、地域防災、振興など、総務、税務、企画事務に関する事項。

委員長 信夫 正雄
副委員長 佐藤 広幸
委員 佐藤 勝
同 加藤 俊正
同 武田 吉雄

文教民生常任委員会

学校教育、社会教育、福祉、保健衛生、国保年金、介護保険、などの事務に関する事項。

委員長 八 太
副委員長 叶内 富夫
委員 原田 久雄
同 佐藤 政光
同 大場 和夫

産業建設常任委員会

農林水産、農村整備、商工観光、集落排水、下水道などの事務に関する事項。

委員長 八 勝昭
副委員長 野尻 益夫
委員 森 晃
同 叶内 太一

議会広報編集特別委員会

委員長 八 太
副委員長 信夫 正雄
委員 叶内 富夫
同 野尻 益夫
同 佐藤 広幸

哀悼決議を可決

8月9日臨時会において、去る7月1日に逝去されました故齋藤好美議員の急逝を悼み、議員発議により哀悼の決議を可決しました。謹んで哀悼の意を表します。

ここに齋藤好美議員が在りし日の面影を偲び、生前のご功績を讃え、御遺族、並びに舟形町の前途に限りなきご加護を賜りますことをお願いしまして、追悼の言葉といたします。

特別委員会状況報告

8月9日
第1回特別委員会
委員会内に常任幹事会を設置することに決定。
第1回常任幹事会
8月28日
第2回常任幹事会
幹事研修（真室川町議会）
9月12日
第2回特別委員会
委員会の主たる調査事項を「町の行財政改革」とする。
10月10日
第3回常任幹事会
10月10日
第3回特別委員会
ふながた改革推進プランの進捗状況

「新型交付税」導入に関する意見書

人口・面積を基本として算定する「新型交付税」導入の方法によっては、これまでの算定基準が引き下げられる地域、あるいは豪雪寒冷、地すべり、へき地など条件不利地域において、必要な財源需要に的確に対応できなくなる事態などが懸念されることであり、われわれ町村に大きな不安をもたらしている。

地方6団体が内閣及び国会に提出した「地方分権の推進に関する意見書」を最大限に尊重するとともに、各地域の実情を十分に踏まえ、地方交付税の財源保障機能及び財源調整機能を強化し、各町村の財政運営に支障をきたさないよう十分に配慮すること。

この意見書を政府関係機関に提出しました。

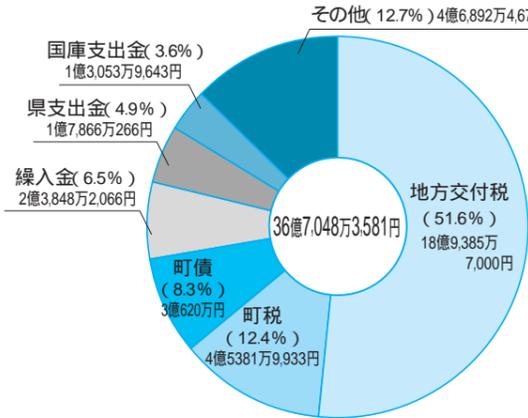


幹事研修会（真室川町議会）

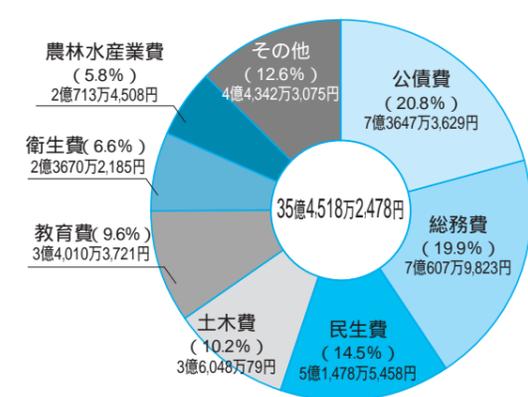
決算審査特別委員会

一般会計

歳入 (36億7,048万3,581円)



歳出 (35億4,518万2,478円)



歳入歳出差引額 1億9,745万9,406円

厳しい財政事情収納対策に万全を



八俣 太 委員長

平成17年度決算審査は会期中、9月11日から9月14日まで決算審査特別委員会を設置し、委員長に八俣太文教民生常任委員長、副委員長に、信夫正雄総務常任委員長を選任し、一般会計、9特別会計を慎重に審査し、満場一致で承認しました。

特別会計 (単位: 円)

会計別	歳入額	歳出額
国民健康保険	592,466,895	555,623,996
老人保健事業	795,314,690	797,077,839
町営バス事業	10,955,519	10,955,519
介護保険	562,522,259	536,956,408
簡易水道事業	432,341,108	425,813,387
住宅用地造成事業	340,350	340,350
農業集落排水事業	220,083,189	216,943,478
舟形若あゆ温泉事業	133,884,487	133,539,360
公共下水道事業	392,245,638	390,745,495
合計	3,140,154,135	3,067,995,832



佐藤代表監査委員

監査意見書

町長により提出された決算関係書類を審査した結果、決算計数は誤りがないものと認めた。

主要な財政指標をみるに、経常収支比率が前年比3.9%増加の89.6%、公債比率が1.3%増加の14.3%となるなど、財政の硬化が進み弾力性を失いつつある。今後の財政運営には特に慎重を期されたい。

また、町税や使用料などの滞納、未納の増加が、憂慮される状況にあり、自主財源の乏しい財政をさらに圧迫することとなり、善良なる一般町民との公平・平等性の観点から回収に更なる努力をされたい。

地方の景気もやや回復傾向にあり、減少していた町税が徐々に増加したのが注目される。

地方交付税が年々減額され、厳しい財政事情の中で、人件費をはじめ義務的経費の削減に努力をされており、その成果が随所に認められ評価をした。

質 疑 答

議員 長者原、福寿野地区農集排施設工事、入札に問題はないか。

振興課長 設計する際に県新庄市、山形市まで広範囲の歩掛けや単価等を参考に指名し8社が入札に参加して設計しており、入札は落札率は98.29%で規定町財務規則に沿って行っています。



改修工事がはじまっています (福寿野地区農集排施設)

議員 既存の基礎の上に新しい施設、耐用年数や処理方法などに問題はでないか。

議員 AED (自動体外式除細動器) の使い方の指導や今後集落に増やしていく考えはありますか。

振興課長 集落処理場改修建設方法で問題ないと判断について検討した結果、既存のコンクリート部は修理修繕を行い再利用し、それ以外は増設となり、今回の型式にする計画です。

議員 高額医療共同事業・保険財政共同化安定事業各拠出金の詳しい内容は。

町民課長 高額な医療費の伸びによる急激な国保財政負担の緩和を図るための互助制度として保険者の拠出金を財源に交付されています。



町内の各施設に設置されつつあるAED

議員 出産育児一時金40万円増加の理由、出産費用を全額無料にしてピカッと光る町づくりをしては。

町民課長 当初国保会計では30万円支給を10名と見込んでいましたが、条例改正により5万円増となりまして、それに該当する8名分の40万円を補正しました。

町長 保育所を統合すれば削減効果があります。育児にお金のかからない行政をしていきたい。



楽しい川遊び（長沢遊々塾）

町民課長 補助金を受けた関係上、県に保育所の休止の届けを出し、維持管理をしていきます。南部保育所は医療関連施設に、舟形保育所は、介護保険関連施設に、長沢保育所は「デイサービスセンター」、集会所利用等、費用対効果の面で、内部で検討しています。

議員 統合後の保育所跡地の利用法は。

議員 職員採用は、事務処理上の必要性が基本ではないか。
総務課長 国でも、官から職員への移行が進む中、町でも「舟形集中改革プラン」平成30年には、79名の職員を作成し、将来を見据えた

議員 夏休み期間中、子ども達の川遊び場所の確保と小国川の水质ランクは。
教育長 以前から教育委員会でも検討をしており、たちで、19年度、実施で小国川漁協とも非公式ながら話し合いを進め、前向きな返事をいただいています。
まちづくり課長 小国川の水质は県内5位の中に入っていないが上位に位置していません。

議員 山交バスの町内路線、運行廃止の方向、町の対応は。
振興課長 堀内、新庄、舟形、新庄間の山交バスの運行に関しては、今年も乗客数を調査し、新庄市と協議をし運行回数を減らしています。

議員 3保育所統合の経費削減額と臨時職員の継続雇用は。
町民課長 施設管理面での経費削減を2,000万円程見込んでいます。
総務課長 統合のあかつきには、資格の有無により待遇の改善を図りたい。

議員 統合後の保育所跡地の利用法は。
町民課長 補助金を受けた関係上、県に保育所の休止の届けを出し、維持管理をしていきます。南部保育所は医療関連施設に、舟形保育所は、介護保険関連施設に、長沢保育所は「デイサービスセンター」、集会所利用等、費用対効果の面で、内部で検討しています。

議員 包括支援センター介護予防の指導を。バリアフリー予算の使途と介護用品購入への補助は。
町民課長 4月開設し数多くの来所、相談を受けました。介護の認定、ケアプランの作成等です。予防に重点を置いた、生き生き長生き健康教室を町内各地区で開催しています。購入補助はバリアフリー（快適住ま



運行廃止の方向にある山交バス

総額5,000万円超！ 町税、水道料などの使用料未納金が財政圧迫 決算審査特別委員会質疑

町税、使用料未納金内訳	
町税	17,565,350円
保育料	270,800円
公営住宅使用料等	2,669,360円
国民健康保険税	21,277,528円
介護保険料	630,100円
水道使用料	7,502,053円
農業集落排水使用料	870,306円
公共下水道使用料	957,852円
合計	51,743,349円

議員 固定資産税だけでも不納欠損額が、152万円強、徴収にどのような努力を。
町民課長 未納対象者は10人でその内、会社が2社となっています。
また、その中で転出者5名、破産者が2名あります。徴収方法として、今年8月1日より12月末日まで、課
議員 公営住宅使用料の未収金合計が、265万円程になっているが、不納欠損にならないような手立ては。
振興課長 11件の家賃未納額で、滞納者は固定しているのが現状です。
現在、個別訪問をして家賃の分納をお願いしたり、

議員 町税の滞納、公営住宅使用料や、上下水道料金の滞納者が重複しているれば、生活指導の必要性は。
町民課長 重複している方が多いようです。
振興課長 今のところ、生活に支障のないように、極力、分納をお願いしているところでは。
議員 納税組合と、未収金の現況はどのような関係にあるのか。
町民課長 町には現在38の納税組合があり、その内、35の納税組合が振替納税をしています。
組合の徴収率は、町税が99.04、国保が96.47%で県内でも高い方に位置

議員 季節による転出転入をされる方に対する税の徴収をどのように対応か。
町民課長 住民の移動について、納税義務を果たしては、追跡調査をしております。
議員 公務員の飲酒運転による事故が多発。町では職員にどのような指導を。
総務課長 酒飲み運転は、自分だけの問題ではなく、町職員全体の信頼にも係わることであり、町の懲戒処分基準をもう一度よく見るよう今朝（9月8日）パソコンを通して全職員に対して、綱紀粛正を促したところです。職員一同、飲酒運転による事故が他人ごとではないという気持ちで充分注意をしていきます。



秋の交通安全県民運動町内広報キャラバン（南部保育所）



今年も盛会でした（若鮎まつり）

議員 若鮎まつりにおいて、町内会長を招待すべきではないか。
議員 若鮎まつりにおいて、町内会長を招待すべきではないか。
議員 若鮎まつりにおいて、町内会長を招待すべきではないか。

議員 小国川漁協の遊漁券の値上げ、内容は把握しているか。
議員 小国川漁協の遊漁券の値上げ、内容は把握しているか。



早朝から御苦労様です（富田地内）

議員 霊柩車の利用数と今後のあり方は。
議員 霊柩車の利用数と今後のあり方は。
議員 霊柩車の利用数と今後のあり方は。

議員 合併浄化槽の整備状況と、補助金はいつまで続くのか。設置戸数のアップは図れないか。
議員 合併浄化槽の整備状況と、補助金はいつまで続くのか。設置戸数のアップは図れないか。

議員 今年も盛会でした（若鮎まつり）
議員 今年も盛会でした（若鮎まつり）
議員 今年も盛会でした（若鮎まつり）

議員 今年除雪体制はどう対処するのか。
議員 今年除雪体制はどう対処するのか。
議員 今年除雪体制はどう対処するのか。

議員 特区的にどぶろく、機会を活用し、販売の拡大を。
議員 特区的にどぶろく、機会を活用し、販売の拡大を。

議員 農地・水・環境保全向上対策 地域づくり育成自治宝くじ、事業の整合性を図れ。
議員 農地・水・環境保全向上対策 地域づくり育成自治宝くじ、事業の整合性を図れ。

議員 残留農薬の分析結果は。
議員 残留農薬の分析結果は。
議員 残留農薬の分析結果は。

議員 ゴミ袋が店頭より消えた真相と対応は。
議員 ゴミ袋が店頭より消えた真相と対応は。
議員 ゴミ袋が店頭より消えた真相と対応は。



操法開始の号令を待つ緊張の瞬間（ポンプ操法大会）

議員 消防費の追加補正をしながら、不用額が多いのは。
議員 消防費の追加補正をしながら、不用額が多いのは。
議員 消防費の追加補正をしながら、不用額が多いのは。

議員 猿羽根山スキー場の今後の見通しは。
議員 猿羽根山スキー場の今後の見通しは。
議員 猿羽根山スキー場の今後の見通しは。



再利用か解体か、結論が急がれる展望台



毎日供給している水源地（十二河原）

振興課長 水道の使用量は、同時期で比較して見ると若干少なくなっており、節水に勤められているのではないかと、未収金は増えないように努力します。

議員 農集排と公共下水道料、料金一元化の影響は、収納対策委員会内容を透明に。

農業集落排水

議員 返済能力を超えた無制限での貸付は、畜産農家のためにもならないのではないかと、基金条例を見直し、基金条例を見直し、

議員 肉用牛及び乳牛導入貸付基金運用で滞納金734万円、資産管理がずさんでは、

議員 返済能力を超えた無制限での貸付は、畜産農家のためにもならないのではないかと、基金条例を見直し、

財産に関する調査



すくすく育つ子牛

議員 返済能力を超えた無制限での貸付は、畜産農家のためにもならないのではないかと、基金条例を見直し、

議員 肉用牛及び乳牛導入貸付基金運用で滞納金734万円、資産管理がずさんでは、

議員 返済能力を超えた無制限での貸付は、畜産農家のためにもならないのではないかと、基金条例を見直し、

簡易水道

議員 歳入の10%を占める町税や水道料の未納金、町長はどのように考えるか。

町長 滞納者が多くなって、今年から収納対策委員会

議員 水道料の未納金が多くなっているが、対策は考えているのか。

振興課長 未納の方には毎月未納通知書を送付し、職員も戸別訪問をしたりしながら回収にあたって

特別会計



9月から英語指導をしているヘッツア先生（左）

議員 英語指導助手は現在いないのでは、今後の考えは、教育次長 今まではエーモン先生が、活躍されましたが、8月2日付で3年間の任期満了になりました。

議員 町スポーツフェスティバルの参加人数が少ないのでは。教育次長 町ではキャッチボールとして、1町民1人、465名でありました。

議員 歴史と文化に親しめる町づくり事業の活用とは、教育次長 町では昔ばなしの本を出しましたが、言葉で聞きたいとの声があったので、沼沢真雄さんと佐藤和子さんの語りによる、16話をCD化しました。

議員 遊楽館が学習センターを利用しているが、使用料無料なのか。まちづくり課長 デイサー道、ガス、灯油代については学習センター単独で使



少ない開会式（スポーツフェスティバル）

議員 文化面で活躍された方への町の対応が足りないのでは。議員 文化面で活躍された方への町の対応が足りないのでは。

議員 スクールバスの運転手採用は、休日のバス活用にボランティアできる方を。議員 スクールバスの休日スポ少で利用する場合、回数も増え、責任も重大になっており、休日のボランティアでの運転は無理と思われる。



信夫正雄 議員

中心部広場に多目的テントは張れないか 財政的に厳しい状況です



イベント用テントの実例

【質問】 舟形町の中心部に十二河原河川敷地をはじめ、町民グラウンドや舟小跡地等、三ヶ所大きな広場がありますが、若鮎まつりや消防での利活用を除けば、どの広場も目立った利活用がされていらないように感じます。特に十二河原河川敷地は、現在、河川公園として各種施設も整備され交通の便にも恵まれています。

この広場に、サーカスやイベント等で使うような大きな屋根だけのテントを張ることに、雨天等の天候に左右されず、小中学校のクラブ活動の練習場所や子ども達の遊び場、一般の方々の、体力づくりやコミュニケーションの場、そして各種イベント等、町の顔になるような多目的の広場ができると思うのですがいかがですか。河川敷地としての厳しい条件はあると思いますが、誠意を示せば認可もありえると思います。

また、現在も利用目的のない舟小跡地に耐雪ビニールハウスをたて、冬期間のクラブ活動や子ども達の遊び場所として開放してはどうですか。

【町長】 舟形中心部には、若鮎まつり会場となる「アユパークふながた」、「町民グラウンド」、「舟形小学校跡地」と三ヶ所大きな広場があります。そのうち、アユパークについては、所有者が山形県であり、河川法の制限を受けます。また、町民グラウンドについては、財務省の所有で、運動公園として使用することと無償で借りています。二ヶ所とも、所有者との協議が必要であり、新たな利活用を計画することは厳しいものがあります。

舟形小学校跡地の広場については、町の所有でありますので、新たな活用を図ることは可能です。しかし、言われるようなサーカスなどのできる大型テントではありますが、縦20m×横20m×高さ3・36m程度のテントだけで2000万円を超えると聞いています。

また、雪国仕様でないために降雪前の撤去や、春には設置と維持管理が大変になると思います。このため、サーカス等のできる大型テントを設置することはかなり厳しいです。しかしながら、質問の趣旨は、舟形小学校跡地を含めて、中心地区の未利用地を活用して、地域の活性化を図れということだと思いますので、積極的に検討します。



武田吉雄 議員

起農と商工振興策を促進すべし

人材確保に勤め、地域活動を支援します

【質問】 伊藤町長のスローガンである協働のまちづくりの一端としての起農と、商工業の振興策について質問を致します。町の基幹産業として持続的に発展するために、新規就農者、Uターン者への支援はまだまです。特に行政がかかげるアドバイスは不可欠ですが、長年の経験豊かな人材はどの町内会にもいるはずで、生産だけでなく集落、組織に密着した信頼できる、人間関係の構築が重要課題であると考えます。

商工の振興では、国、県においても中小企業庁のガイドブックでベンチャー企業、やまがた就農ガイドブックが公開されています。参考に考えるはありませんか。

また、農地、水、環境保全向上対策への取り組みについては、町づくり課と町内会、この事業の進め方についての関連、整合性について伺います。



高齢者を講える会（沖の原町内会にて）

【町長】 山形県全体で昨年度の新規就農者は152人となっております。その中でUターン就農は78名となっております。舟形町でも3名が新たに就農していますが、Uターンやイターンによる就農者はいまいません。Uターンも含めた新規就農者に対する対策ですが、現在、県と市町村と一緒に「新規就農相談センター」をつくり支援していますが、引き続き支援していきます。次に経験豊かな方々の人材活用ですが、今年度から農協でも「生産アドバイザー」として6名の方々に委嘱し、農家への指導を行っています。町も農協とタイアップしながらすすめます。

次に商工業、農業の振興を図る上で、「ガイドブックの活用」という質問ですが、中小企業庁が発行しているものや新規就農者のためのガイドブックもありますが、今後とも十分に活用していきます。また、具体的に起業化を図る場合は、商工会や最上地区の中小企業支援センターの支援をいただきながら対応していきます。次に、「農地・水・環境保全向上対策」については、2集落でモデル事業を行っていることから他市町村に先駆け集落座談会を開催しているところです。この事業は農道や水路の管理とともに地域づくりの事業でもあり、計画づくりも地域づくりの観点から事業ができるように地域活動を支援していきます。



英語教育より日本語教育を

国際化に伴い、積極的に取り組んでいきたい

大場和夫 議員



新しい先生で楽しい英語授業

国際的な観点から見ても我が国における国際化が急速に進んでおり、英語によるコミュニケーション能力を身につけることは、極めて大切なことであるとの認識が高まっています。小学校における英語教育の必要性を認め、推進することに賛同している保護者は70%を越えています。教育の機会均等の確保という立場から、英語活動が

質問 今、若者中心に日本語が乱れていると言われる。国語は民族の歴史と文化の最も大切な遺産と考える。我等2000年の歴史文化の中で地方独特の言葉や文化も含め、世界の語学の中でも最も美しく、多様な形で意志や感情の伝達が出来ると言われている。今の義務教育空間の中で正しい日本語教育や文化の学習は大きな課題と考えられる中で、我が町はさらに英語を義務化しようとして

いるが、今の教育空間の中で伝受されるわずかな英語が将来存在する町民の町づくりにどれだけの効果が期待されるのか。私は義務教育空間の中では先ず、完璧な日本語教育や関連する歴史文化の成果を追求し、多様な外国語学習は、義務教育以外の空間の中で将来に向けそれぞれの人生指向の中で個人の学習意欲にゆだねるべきものと強く考えるが。

町長 小学校における英語教育の導入について様々な課題を抱えていることも事実だと思います。今年度、舟形町と酒田市が山形県の英語活動実践モデル校に指定されています。当町においては、11月1日の英語活動の公開授業発表に向けて、着々と準備を進めているのも事実です。平成18年3月31日に文部科学省の中央教育審議会から「小学校における英語教育について」の答申が出されました。

小学校への英語導入についての理由として、子ども達の柔軟な適応力を生かすことによつて英語力の向上が期待できると言われていいます。国際的な観点から見ても我が国における国際化が急速に進んでおり、英語によるコミュニケーション能力を身につけることは、極めて大切なことであるとの認識が高まっています。小学校における英語教育の必要性を認め、推進することに賛同している保護者は70%を越えています。教育の機会均等の確保という立場から、英語活動が



佐藤広幸 議員

どのように協働のまちづくりに参加させるのか

情報を共有化し、町民と行政が一体となって町づくりをします。

質問 日本人の居住する生活地域は、地方と都市という二極化に分けることができ、地方と言われる我が町でも都市化傾向は著しく進出し社会生活や家庭生活は素晴らしい快適で便利となつてきていると感じます。このような傾向は積極的に自分の住む地域に関心を持たないと言つことになり、隣近所に住んでいてもなかなか言葉かけ合う機会が少なくなりました。皮肉なことに生活条件が整備されればされるほど生活においての共同性がなくなつていくと感じます。



活性化がもたれる中心通り！

我が町においても核家族化と新興住宅地への新住民の居住で昔ながらに住む旧住民と新しく住み始めた新住民との二極化が始まつてきていると思われまふ。このような生活形態になり、地域活動や町政に比較的関心の持たなくなつた住民をどのように「協働の町づくり」へ参加させていくのかその考えを伺います。

町長 戦後60年「質素儉約型」から「所得倍増計画」「消費は美德」と日本は大きく変わりました。生活が裕福になり、生活条件が整備されてきた今日では、確かに、地縁的つながりや、地域コミュニティが希薄になつてきていると思われまふ。地域コミュニティや町政に比較的関心の薄くなつた住民を、どのように協働のまちづくりに参加させて行くか大きな課題です。バブル破壊後、ようやく心や精神的なゆとりとか、自然環境が重要視されるようになったのは最近のことのように思われまふ。それまでの30年から50年の間根差した、個人重視の風潮があり、一朝一夕に変わるものでありません。時間がかかつて、住民参画による協働のまちづくりを



女性・子ども議会を開催し、率直な声を町政へ

開催へ向けて検討していきます

森 晃 議員



多くの女性傍聴者の中での質疑

質問 「安心して子どもが産める。子育てができる。」
「安心して老後を過ごすことができる。」
「こつこつ地域社会の実現をめざしたいものである。」
「少子・高齢社会」という、むずかしい時代を迎えたが、いずれも暮らしの現場に立脚した女性の問題が多い。しかしながら、国会や地方議会を問わず女性議員が少なく、政治や行政に女性の生の声がとどきにくい。女性は男性には見られない細部に気がつく観察力や世間のうらをよく知っている

など洞察力をもっているといわれています。
そこで、女性の提言を町政に生かすため、女性の模擬議会を提案します。
将来を担う子どもたちにも行政のしくみを理解してもらい、まちづくりへの関心を高めてもらいたい。
そして、率直な声を町政に投げかける「子ども議会」を同時に開催する検討をしてみたいかがですか。

町長 国においては「男女共同参画社会の実現は、21世紀の我が国の社会を決定する最重要事業」と位置づけています。
山形県においても、女性の副知事を置いたり、18年度予算の重点項目に挙げています。
当町においても、平成14年度から国県と歩調を合わせて男女共同参画社会の実現に向けて事業を展開しており、同年にサークル「夢ふっせん」が組織されて、民間と行政が一緒になって活動をしています。
ところで、女性議員の数が平成12年の衆議院選挙の結果35名で3.5%、参議院は、平成15年の選挙の結果38名で15.4%です。
一方、地方議会を見ると都道府県議会では6.9%、市議会では12%、町村議会では5.8%であり、地方議会全体で8.1%と極めて低い状況です。
山形県は、全国最下位の女性議員数だそうです。

さて、質問の女性模擬議会開催についてはですが、県内においても女性議員ゼロの市町村をなくするという運動を展開している聞いています。
当町でも、議会や行政において女性の視点・立場での意見が重要になっていることは事実です。
したがって、連合婦人会や各種団体と協議しながら「女性模擬議会」の開催について検討して行きたいと思っております。
また、「子ども議会」の開催については、教育委員会、学校と連携しながら開催に向けて検討したいと思います。



叶内太一 議員

まんざくに雪室で観光促進しては

受益者が主体の方が効率的ではないか

質問 舟形町は雪利用研究では全国に先駆けて研究と開発に活発な活動をしてまいりました。猿羽根山農林体験実習館の冷房システム、沖の原地区アグリテックの米貯蔵システム、民間の住宅雪冷房が建設されています。直接町民にアピールする材料がありません。
実栗屋に最初に建設された研究用の雪室施設が老朽化して利用価値がなくなりました。建設以来、その施設の利用と維持管理をしてきました。利用者から存続の声もあり、その代替えの雪室を観光をも兼ね合わせ産直まんさくの敷地内に小規模の雪室施設を建設してみたいかがでしょうか。



利用客で賑わっている直売所「産直まんさく」

地理的にも条件の良い場所です。ましてや町所有の財産でもあります。最高の場所であり、利用者も増えるのではないのでしょうか。その考えを伺います。

町長 利雪の取り組みは、国営農地開発の調査事業から生まれたものであり、農産物に付加価値をつけるために雪を利用するところからスタートしました。平成元年に「雪氷室貯蔵庫」実栗屋へ、平成6年に体験実習館に「雪冷房システム」、平成11年に沖の原に「米貯蔵施設」を設置しています。雪氷室貯蔵庫は、現在、利用組合で運営しています。が、老朽化がすすみ、解体も視野に入れる時期を迎えています。
「直売所の隣接地に観光にも利用できる雪室の設置」という提案ですが、小規模であつてもかなりの雪の量が必要であり、観光に供する施設であれば最低でも体験実習館の60トンから200トン程度の雪を貯蔵する施設が必要になると思われる。

また、公設ということですが、直売所の利用者や農産物販売拡大と雪室を結びつけた取り組みの方がより現実的であり、受益者が主体となつて整備した方がより効果的であると思います。そのための助成事業や、雪に関するデータ、貯蔵システムなど、整備に必要な事柄は町としても提供でき、計画段階から完成まで支援できると思います。



八鍬 太 議員

今後どう変わるか、町の農業

政策支援が受けられる農家の育成確保

質問 新たな食料・農業・農村基本計画のなかで、市場を通して需要動向に反応した売れる米作りを基本とした「米作りのあるべき姿」の実現に向けて19年産から品目横断的経営安定対策が導入されようとしています。今後とも需要量の減少に応じた計画生産をどう継続、維持できるかが、最大の課題です。

3、生産調整非参加者の生産による過剰米対策の機能強化と指導対策。
4、品目横断の過去実績のない新規作付けへの支援と産地作り交付金の有効活用について。
5、集落営農に向け、地域農業ビジョンの具体的推進策について。

町長 来年度から農業構造の抜本的な改革に向けた「集落営農」や「品目横断的経営安定対策」が始まります。町としても、出来だけ国の施策が受けられる組織づくりや農家の育成確保に努めたいと考えています。

その目的は効率的な作業と低コスト化による安定的な農業経営の確立です。そのためには「担い手農家を中心とした集落営農」は避けて通れず、担い手の確保を図るためにも作業の受委託の促進や機械の共同化など、出来ることから組織づくりを行い農家の所得確保を図っていきたく考えています。

最後に「集落営農の推進」ですが、7月下旬から全集落を対象に説明会を開催しましたが、組織の法人化や口座の一本化などの要件もあり、残念ながら現状では機が熟していないと理解していますが、中・長期的展望に立ち農政事務所や県の協力を得ながらすすめてまいります。

「舟形町の集落方向性」の実現に向け、早急な条件整備が必要と考え、次の点について伺います。
1、担い手の確保と将来不安を解消するための経営所得確保対策。
2、米に代わる作物の作付け拡大と水田の有効活用をはかる作物対策。



稲の刈取りも終盤、来年からは品目横断対策が始まる

水田農業ビジョンや園芸振興計画に基づき、ニラ・山菜・キウリ・食用菊・トマトなどの作物を重点作物とし普及、拡大に努めていきます。
来年から生産調整は農家の自主的な取り組みとなります。こうした中で、過剰米対策は互助会制度を利用した数量調整と非協力者への理解と協力を求めながら対策を講ずるべきであると考えています。

最後に「集落営農の推進」ですが、7月下旬から全集落を対象に説明会を開催しましたが、組織の法人化や口座の一本化などの要件もあり、残念ながら現状では機が熟していないと理解していますが、中・長期的展望に立ち農政事務所や県の協力を得ながらすすめてまいります。

シリーズ

一般質問のQ&A

アクセス道路の整備を

平成16年12月議会より

質問

産直「まんさく」を入口として、若あゆ温泉、県民ゴルフ場へのアクセス道路の整備拡張、環境の美化対策として、並木道、草花等の造成はどうか。

答弁

今後、アクセス道路の整備を行い、沿道周辺にある野生の「こぶし」等を、地主の皆さんから管理していただき、後世に残してほしいと考えています。

現況

18年度当初予算に測量設計委託料を計上しております。地域の協力をいただきながら、計画ルートを設定していきます。これまで県の里山景観創出事業で沿道周辺の下刈りを行いある程度の景観が保たれたと考えております。今後とも国県より財源確保を模索しながら環境美化に努めていきます。

総務常任委員会所管事務調査(8月17日)

簡易水道施設の現況と水質の安全性について
調査結果について

現在の水源地は、十二河原と小松の2ヶ所ながら、小国川の豊富な伏流水に恵まれ、全町に給水できる十分な水量を確保していること、改めて小国川の恩恵に浴していることを感じました。

また、以前使われていた給水施設も一部は万が一のための予備施設として整備管理され、水質管理も最新の自動滅菌装置が作動しており、今後とも、安心安全で豊富な水道水が供給できるものと感じてきました。

今後の留意点について

水源地付近への油の流入等の衛生管理、石綿管の早期交換、水道料の未納者への対応等、留意すべきである。



水道施設の万全な対応を確認

文教民生常任委員会所管事務調査(7月18日)

1、町立保育所統合について
地域説明会の実施結果について

各地区の町民を対象に行われた説明会の結果概要について報告を受けました。

町当局の示している統合計画案に対し、大方の町民は理解を示しているものと推測されました。今後は、参加者から出された統合後の不安や要望についての対応に配慮しながら遅滞なく20

年4月統合に向けて実施計画に着手されたい。

今後の留意点について

私立幼稚園の保護者についても新施設での保育計画や内容等を提示すべきである。

幼保、幼小一貫教育を目指すのであれば、教育委員会の介入は不可欠であり、所管連携した組織づくりも必要と考えます。

議会運営委員会研修

議会運営委員会研修で6月26日、秋田県鹿角郡小坂町議会を訪問しました。小坂町は舟形町と類似した規模の町で人口6,836人、面積178、職員数94人、18年度予算額36億5,400万円である。町長の挨拶の中で循環型産業の構築へ向けてという行政姿勢を伺いました。

小坂町議会議員、副議長、運営委員会委員、事務局出席のもと、研修の目的である議会運営について、請願、陳情の処理(資料配付とする場合の基準)、予算決算の朗読(一般質問の取扱(通告通知期間)など。特に変わった事項では、予算、決算の審査の中で通常の委員会には町長が出席しないこと。一般質問では90分の質問時間で一問一答方式によって行われております。

舟形町議会もこれらを参考にしながら、適進していきたいと考えています。



議会の運営方針を学ぶ(秋田県小坂町)

声 声 声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せ下さるようお願いしています。

教育委員会委員の

再任に同意



齋藤好彦氏
舟形町富田425番地の5
(54歳)

任期は
平成18年10月1日より
平成22年9月30日まで

編集後記

暑かった夏も過ぎ豊かな実りの秋。田んぼも緑の絨毯から、黄金色に衣替えした稲穂も、瞬く間に刈り取られ元の姿へ戻り、カラスが田んぼの上を舞っています。季節、人間の営みの変化の早さに驚いています。

毎日伝えられるクマの出没による人間への危害、また、イノシシ、サル、タヌキ、カラス等の農作物の被害や造林地におけるカモシカの被害等、人間と動物が共存共栄する為の自然界の掟の変化に危惧しています。

また、最近、世界平和に逆行するような北朝鮮の地下核実験に対して、世界各国が一致団結して強い態度で臨もうとしています。

1日も早い世界平和を願いたいものです。

17年度決算審査においても住民サービスや自主財源の確保に向け、不納欠損や未納金の収集方法等が議論され、8日間の会期を終えました。これから寒い季節を向かえますので体に気をつけてお過ごし下さい。

(叶内 富夫 記)

平成18年度町村議会議員研修会



「ブナの実21」副会長
山形県ふるさと保全指導員
信正己さん
(洲崎)

私は仕事から、出張で東京する機会が多く、人と会い話題になるのが、田舎の食べ物、酒、自然、歴史、文化といったことです。

その場所や地域にいかなければ体験することができないことこそ、その町の宝物だと思います。

議員の皆さんも、舟形町のいいところについて、プレゼンターミング的なやり方で意見を出し、色々と宝物を探してみたいかがでしょうか。

山形県町村議会議長会主催、平成18年度町村議会議員研修会が8月1日山形国際交流プラザで開催され、

次に読売新聞編集委員、日本テレビ系「ズームインSUPER」の朝の顔

地方自治総合研究所主任 研究員の辻山幸宣氏の「分権時代における自治体議会のありかた」議会の存在意義の理解のために受講しました。

の現在の政局についてジャーナリストの立場から小泉総理の対アジア外交や次期自民党総裁選についての講演でした。

自治体政府の変換と議会の分権時代の自治体議会の課題、市町村合併騒動の下での議会など、全国の自治体

感じたところでは、東北人らしさに親しみを



真剣に講演を聞く当町議員

最上地方町村議会議員研修(10月6日)

最上地方町村議会議員会主催、議員研修会が金山町「シーネスハイム金山」で開催されました。講師に日本テレビ客員



郡内一同に会しての研修会

解説者の田宮榮一氏を招き、「身近な危機管理について」講演を聴きました。

先生は河北町出身で長く警察畑を歩かれ警視庁警部長を歴任されています。日本テレビ系夕方の番組リアルタイムで各メディアの事件捜査の報道を鋭く解説されています。

蟻の一穴から発生する小さな事件にしても、その穴が徐々に大きくなり大きな事故、事件につながる恐れがあり、危機管理を徹底して、未然に防

ぐことが安全、安心な社会につながるこの講演でした。

最後にテレビの解説者として、一秒という短い時間で話せる言葉の重さを力説され、同感したところでした。



議会だよりふながた

発行編集

舟形町議会
議会報編集委員会

〒999-4601 山形県最上郡舟形町舟形263番地
電話(0233)32-2111